

第5期堺市障害福祉計画 成果目標の進捗状況

本指針の目標	福祉施設の入所者の地域生活への移行																								
計画(P) ↓ 実施(D)	目標値	【令和2年度末までの目標値】																							
		① 地域生活への移行：41人 (平成28年度末施設入所者数453人の9%以上)																							
		② 施設入所者の削減：9人 (平成28年度末施設入所者数453人の2%以上)																							
		【目標設定の考え方等】 国の基本指針のとおり設定																							
		【実績の推移】※()の数値は前年度までの実績を合わせた累計																							
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">実績</th> <th style="width: 15%;">H30</th> <th style="width: 15%;">R1</th> <th style="width: 15%;">R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域生活への移行</td> <td>3人 (15人)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				実績	H30	R1	R2	地域生活への移行	3人 (15人)	-	-												
		実績	H30	R1	R2																				
		地域生活への移行	3人 (15人)	-	-																				
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">実績</th> <th style="width: 15%;">H30</th> <th style="width: 15%;">R1</th> <th style="width: 15%;">R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設入所者の削減</td> <td>0人 (4人)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(参考) 退所者数</td> <td>19人</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(参考) 入所者数</td> <td>19人</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(参考) 施設入所者数(31.4.1現在)</td> <td>449人</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				実績	H30	R1	R2	施設入所者の削減	0人 (4人)	-	-	(参考) 退所者数	19人	-	-	(参考) 入所者数	19人	-	-	(参考) 施設入所者数(31.4.1現在)	449人	-	-
		実績	H30	R1	R2																				
施設入所者の削減	0人 (4人)	-	-																						
(参考) 退所者数	19人	-	-																						
(参考) 入所者数	19人	-	-																						
(参考) 施設入所者数(31.4.1現在)	449人	-	-																						
【参考】																									
<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行者(3人)の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ◇入所していた施設・・・自立訓練系2人、その他1人 ◇退所先・・・グループホーム、サービス付き高齢者住宅、自宅(単身) ・退所者(19人)の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ◇退所理由・・・地域移行3人、高齢施設入所2人、入院2人、死亡11人、療養介護施設入所1人 ・入所者(19人)の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ◇入所前の居住場所・・・家族と同居12人、短期入所2人、病院1人、グループホーム2人、障害児入所施設2人 ◇家族と同居の方の入所に至った理由・・・家族等の高齢化や病気や死亡9人、本人の介護度の上昇1人、自立訓練系2人 ◇グループホーム利用者が入所に至った理由・・・行動障害対応困難1人、状態変化により車いす対応が必要になった1人 																									
【参考】入所施設者の地域移行支援利用者数																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">H27</th> <th style="width: 25%;">H28</th> <th style="width: 25%;">H29</th> <th style="width: 25%;">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>				H27	H28	H29	H30	2人	1人	2人	4人														
H27	H28	H29	H30																						
2人	1人	2人	4人																						

第5期堺市障害福祉計画 成果目標の進捗状況

○主な活動指標の一覧

		H30	R1	R2
居宅介護	見込	2,577人/月	2,743人/月	2,909人/月
	実績	2,505人/月	-	-
重度訪問介護	見込	236人/月	249人/月	260人/月
	実績	213人/月	-	-
行動援護	見込	37人/月	38人/月	41人/月
	実績	45人/月	-	-
同行援護	見込	310人/月	320人/月	331人/月
	実績	302人/月	-	-
生活介護	見込	1,943人/月	2,018人/月	2,095人/月
	実績	1,967人/月	-	-
自立訓練（機能訓練）	見込	29人/月	31人/月	33人/月
	実績	25人/月	-	-
自立訓練（生活訓練）	見込	158人/月	173人/月	190人/月
	実績	91人/月	-	-
就労移行支援	見込	254人/月	265人/月	276人/月
	実績	277人/月	-	-
就労継続支援（A型）	見込	320人/月	335人/月	350人/月
	実績	467人/月	-	-
就労継続支援（B型）	見込	1,924人/月	1,998人/月	2,075人/月
	実績	2,052人/月	-	-
短期入所	見込	842人/月	883人/月	925人/月
	実績	775人/月	-	-
自立生活援助	見込	10人/月	19人/月	29人/月
	実績	0人/月	-	-
共同生活援助	見込	769人/月	802人/月	835人/月
	実績	805人/月	-	-
地域移行支援	見込	13人/月	16人/月	20人/月
	実績	2人/月	-	-
地域定着支援	見込	252人/月	260人/月	270人/月
	実績	223人/月	-	-
施設入所支援 ※減少を目指す	見込	448人/月	446人/月	444人/月
	実績	444人/月	-	-

主な活動指標

第5期堺市障害福祉計画 成果目標の進捗状況

	評価（C）	改善（A）
H30 年度	<p>【実績にかかる評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所施設の地域移行支援サービスの利用者は、平成30年度中4人であり、そのうち地域生活への移行済が3人、継続が1人であった。利用期間については、いずれも6か月未満であった。移行された3人のうち、2人は児童施設入所者であるため、実績値には含まれないが、高校卒業時にグループホーム等へ退所となっている。 児童施設からの退所については、区役所等で、子ども相談所と連携し、早い段階から地域生活への移行に向けて支援をしている。特に、行動障害の強い方のすまいの場に関しては大変苦慮している状況であり、対策が必要である。 施設入所者が高齢になっており、介護度が上昇している方や医療的ケアが必要な方が増えている状況である。 入所者については、介護者である家族の高齢や病気により施設入所に至った方がほとんどであった。 施設入所者の地域生活への移行を進めるには、利用者への情報提供と家族の理解が重要である。また一方では、将来の家族の高齢や親なき後に向けて、障害のある方が住み慣れた地域で希望する生活ができるよう取組みを推進していく必要である。 	<p>【R元年度における取組等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各区基幹相談支援センターに設置する地域移行コーディネーターが中心となり、市内の入所施設への働きかけを引き続き行い、各施設に合わせて、職員を対象とした研修や、利用者を対象としたピアを使った取組みなどを行う。 現在の入所者像を施設と共有し、地域生活の可能性について探る。 入所施設、基幹、行政で、地域生活移行支援会議を年2回行い、課題共有や意見交換などを行っている。 地域移行支援を担う事業所を対象に研修等を行い、事業所が支援を行いやすくなるようサポートする。 グループホームにおいて、強度行動障害のある方など重度障害者を受け入れる事業所に対し、職員配置を整えるための経費を補助するなど、地域における暮らしの場としてグループホームの量的拡大と機能強化を進めていく。